



Title	私の健康法
Author(s)	福間, 史倫
Citation	makoto. 2009, 146, p. 8-8
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/85736
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

私 の 健 康 法

堺市美原保健センター

所 長 福 間 史 倫

いきなり防疫協会とも健康法とも程遠い不衛生な話で恐縮だが、池は掃除しないのに限る。狭い庭に掘った水溜り程度の代物なのだが、当初は水遊びを兼ねた真夏の池掃除がすこぶる痛快で頻繁に楽しんでいた。しかし、ある時期、むしろ手入れをサボるほど水質や生態系が落ち着き、時に図鑑やテレビ顔負けの名演が見られることに気づいてしまった。なので、最近では自然観察という本来の目的に専念するようにしている。

昔1匹のカエルが棲みついたことがある。子どもたちと一緒に面白がってそこら辺の虫を与えると、彼はほんと何でも食べて見せてくれた。ダンゴムシにバッタ、ムカデに小型のカエルまで。一度、自分とほぼ同じ体長の金魚を頭からパクリといったのには驚いた。さすがに吐き出すかと思ったが、ピチピチと暴れるのもなんのその、みるみる飲み込んでしまった。彼の胃腸、平気なのだろうか。

大きなカメのことも忘れられない。ある朝彼女が芝生にのっそり出てきて、後足を左右

交互に足踏みし始めた。ただならぬ雰囲気だんだん心配になり、無理を承知で海遊館に電話してみると、有難いことに爬虫類の担当者につないでくれた。いわく「その子はもう産みたがってるんですわ〜」だと。やがて彼女は地面に直接ポトンポトンと白い卵を産み始めてしまった。家族みんなで息をのんで見守るのがやっと、何もしてやれなかった。

結局その卵はかえらなかったのだが、彼女はもう一つサプライズを僕らに残してくれていた。翌年、彼女自身の去った庭でのこと。足踏みダンスの場所から少し離れた所に突然ぽっかり穴があいて、赤ちゃんが何匹もヨチヨチ出てきたのだ！

今はその子たちも少し生意気になり、あのカエルの餌食を免れた金魚たちは悠々と風格すら漂う。そしてまた、暖かい季節が巡ってきた。時々無性に池掃除したくなるのだが、今年も訪れるであろう感動のシーン見たさに何とか思い止まっている。

— 府 政 だ よ り —

大阪府健康医療部では保健衛生関連で次の主な行事が行われる予定です。

- 看護の日記念行事 5月12日
- 肝臓週間 期間 5月18日～24日
- 禁煙週間（5月31日 世界禁煙デー）
期間 5月31日～6月6日
- ゴキブリ駆除強調月間 期間 6月中
- 歯の衛生週間 期間 6月4日～10日
- 「ダメ。ゼッタイ。」普及運動
期間 6月20日～7月19日

編 集 後 記

☆当協会の機関誌「MaKoto」第146号をお届けします。

☆勢戸先生、福間先生には大変お忙しいところ原稿を賜りましてありがとうございます。

☆表紙の写真は、伊丹市昆虫館で撮影したオゴマダラ(蝶)です。

撮影者 事務局 富士弘子